

国 際 交 流

本校は1991年からアメリカ北西部ワシントン州のシアトル近郊コピントン市にあるケントウッド高校との交流を続けてきております。ケントウッド高校と本校との出会いは1991年、本校体育教諭（当時）が3週間、ケントウッド高校で柔道の指導を行ったことから始まりました。その後、当時のジョージ・ウィルソン校長から講道館柔道の創始者、嘉納治五郎の書「自他共栄」が本校に寄贈され（柔道場に掲げられています）、更に柔道部OBの招待でウィルソン校長が来校された際に、両校の「交流」が合意されました。以後、相互に学校を訪問する形で交流が進められ、平成27年度末現在のべ135名の教員および生徒がシアトルを訪れ、117名を本校にお招きしています。

毎年3月末の約8日間、2年生5名と付添い教員1名が同校を訪問、平日はケントウッド生とともに授業を受け、学校生活を体験し、「日本語」の授業では日本文化のプレゼンを行うなど、日本語学習のお手伝いもしています。また、夕刻や週末には、それぞれのホストファミリーの一員として異文化での家庭生活を味わうほか、市長への公式訪問や他の3つの州立高校との交流も実施、観光旅行では味わえない貴重な体験をしています。

一方、7月には、ケントウッド生が2週間日本を訪問、本校生の家庭にホームステイしながら、「北野高校生」としての1週間で体験しています（もう1週間は阿武野高校で過ごします）。

また、本校ではハワイ大学スタディーツアー（今年度の日程は7月24日（日）～7月31日（日））と台湾研修（3月下旬、3泊4日）も実施しております。

ハワイ大学スタディーツアーは2年生の希望者45名程度を対象に、SGH 課題研究フィールドワークプログラムとして、ハワイ大学が本校のために制作したオリジナルのプログラムを中心に実施されています。

台湾研修は1、2年生の希望者を対象に台北第一女子高級中学校、建国高級中学校への学校訪問を中心にアジアの国の高校生と交流する機会を持つために企画されました。



SGH（Super Global High-School）は、平成26年度から始まったグローバル人材の育成を目的とするプログラムで、本校は「アジアと学び合うー夢を実現する国づくり」をテーマに、東南アジアの探究を進めることになりました。その一環として、平成27年度はシンガポールでのフィールドワークを行い、課題研究の「アジア探究」受講生のうちの24人が参加しました。シンガポールから国境を越えてマレーシアのジョホールバルに移動し、マレーシア工科大学の学生と文化交流をしました。またシンガポールでは、アジアに事業を展開している公文(Kumon)の現地法人や下水を処理して再利用する施設 neWater を見学したほか、生徒がグループに分かれて公共交通機関を利用しながら市内を歩くフィールドワークにも取り組みました。今年度もシンガポールおよびその周辺でフィールドワークを実施する予定です。



ますます国際化しつつある世界の中で、たくさんの北野高校の生徒が国際交流の機会を持ち、広い視野と寛容な心を持ってほしいと国際交流活動を行っております。